

強引に運転せず、  
そっと足をあてがって、  
滑るようにドライビングする。  
指揮も同じことで、  
勘どころはおさえつつ、  
任せるところは任せると  
最高の演奏ができます。

世界各国のオーケストラで采配を振るう指揮者・小松長生さん。指揮をしているときの鋭い眼光と動作は、舞台を降りると一転、気さくでやさしい雰囲気。穏やかな語りの中にも、音楽に対する愛と情熱、指揮者という仕事への誇りが伝わってきます。指揮者という謎めいた仕事のお話とともに、クルマへの想いを聞きました。



## 指揮者 小松長生

Chosei Komatsu

福井県生まれ。東京大学美学芸術学科、イーストマン音楽院大学院指揮科卒。エグソン指揮者コンクール優勝。カナダ室内アンサンブル音楽監督、東京フィルハーモニー交響楽団正指揮者等を経て、コスタリカ国立交響楽団桂冠指揮者及びセントラル愛知交響楽団名誉指揮者。金城学院大学教授。これまでに「題名のない音楽会」、「NHKららら クラシック」、ベルリン・フィルハーモニー創立50周年記念日独第九演奏会などを指揮。音楽藝術学博士。著書「リーダーシップは『第九』に学べ」(日本経済新聞出版社)。

### コーティングのイメージが ガラッと変わった！

はじめにパッと見た時、自分の車だっけ気がつきませんでしたよ！素通りしちゃいました。ボディはもちろんですけれど、ワイパーや窓枠、ミラーの部分もこんなにキレイになるとは思っていませんでした。

私はクルマ社会の北米に20数年おりました。冬は寒さが厳しいので道路には塩が大量にまかれます。サビ止めのためにコーティングをするというイメージしかなかったのですが、日本に帰ってきたときに「雪もそんなに多くないし、コーティングしなくていいかな」と思っていました。今回やってみたらガラッとコーティングのイメージが変わりましたね。手拭きでの洗車をたまに自分でします。キレイにするというよりは、スキンスリップするように洗っています。クルマは良き仲間という感じですね。北米では普段から1、2時間、平気で運転しますし、生活を楽しむためには欠かせなかったもので、車内は特別な空間でした。日本に帰ってきたからそれは変わらなず、ドライブはよくしますよ。現在、名古屋にある金城学院大学教授も務めています。名古屋はちょっと行けば自然や温泉があちこちにあって満喫できます。

### カラヤンに魅了され、 指揮者をめざす

指揮者になりたいと思ったのは、4歳から5歳のころです。当時テレビはまだモノクロで夕方4時ごろから番組がはじまるんですが、力道山が登場するプロレスやNHKホールでのコンサート、あとはディズニータの教養番組と45分のドラマくらいしかありませんでした。そんな中、ヘル

ベルト・フォン・カラヤンが単身来日してNHK交響楽団を指揮したのを見て、子ども心に魅了され、毎週夢中になって見ていました。その様子を見た母の「指揮者になりたいの？ほんなら、なんね(それなら、なりなさい)」と福井弁で言ったひとことが指揮者になるきっかけでした。それが以来、指揮の物真似をはじめ、小学校になると、ことあるごとに手を挙げて、合唱やバンドの指揮をしました。そしていろいろな方々に支えられてよく指揮者になることができました。簡単になれるものではないですが、両親が水を差すことなく寛大にサポートしてくれておかげだと思っています。指揮者になった後、両親に「なぜ反対しなかったのか？」と聞いたことがあります。父は20歳のとき、学徒動員で死線をさまよひ、戦後、大学院から念願だった研究者としての誘いがあったのに、衰弱とマリアのために断念せざるを得なかったこと。母は、踊りと演劇に憧れ、上京を真剣に望ん

### 「指揮者」は企業の「経営者」

指揮者は、指揮法や読譜力はもてるんのこと、作曲理論や西洋音楽史から文学史、美術史、語学、哲学にいたるまでさまざまなことを勉強しなければなりません。なかでも指揮者にとって最も必要な能力は、様々な役割を総合的にこなしていくことでしょう。人前で指揮するという役者的な要素もありますし、楽曲を分析していく研究者であり、多彩で強烈な個性をもつ演奏者たちを束ねていく現場監督でもあります。また指揮者の仕事ぶりは楽団の経済面にも直結し、経営面にも関与せざるをえません。言ってみれば指揮者の仕事は、企業組織の経営者や管理職と共通することが実に多いと思います。

### 指揮することは、 ドライブすること

私は、視界が良くて、シンプルかつ機能性の高いクルマが好きです。「指揮をすること」と「クルマを運転すること」が似ているからかもしれない。

